

中学生テキスト（税と社会について考えよう）

～ Syllabus ～

1. 授業の概要

税と日本の財政の現状について説明した後、消費税増税をテーマにグループディスカッションを行う。

2. 到達目標

税制度の基本、税の役割を理解させる。

税負担の方法や税の使いみちがどのように決まるのか理解させる。

日本の財政の現状を理解させる。

グループディスカッションを通して、社会の一員として当事者意識を持たせるきっかけとする。

3. 構 想

段 階	学習範囲	学習内容
導 入	税制度の基本 税の役割 日本の財政の現状	・身近な消費税を始めとして、主な税金を紹介し、多種の税金により税を負担する力を多方面からとらえていることを説明する。 ・身近な公共物、公立学校の教育費には税金が使われていることを説明する。 ・歳入と歳出のバランス、税収の推移などをグラフを用いて説明する。
展 開	あるべき税制度についての議論	・グループディスカッションを通じ、消費税増税について議論する。
まとめ	社会の一員として当事者意識を持つ	・新聞やニュースで報じられる日本の財政や税に関することは、決して他人事ではなく、これからも自分たちが暮らす日本の未来のために、社会の動きに関心を持つことが大切であると伝える。

4. タイムスケジュール

項目	内容	時間
<1.挨拶・自己紹介> 税理士のお仕事	自己紹介、税理士の職業紹介。	5分
<2.はじめに>	中学生になじみのある消費税から説明する。	5分
<3. どうして税金が必要なんだろう？> <4. いろいろある税金> <5. 所得税の特徴を見てみよう> <6. 消費税の特徴を見てみよう> <7. 税金をどれだけ納めるのか・どう使うのかはだれが決めるのだろう？>	増税をする必要があるのか？ここで問題提起する。 身近な公共物、公立学校の教育費、公共サービスには税金が使われていることを説明する。 税金の種類について紹介し、直接税・間接税について簡単に説明する。 所得税の特徴（超過累進制度）について簡単に説明する。 消費税の特徴について簡単に説明する。 税金をどれだけ納めるのか・どう使うのかは国民の代表者が国会で決めていることを説明する。	15分
<8. 歳入と歳出> <9. 税収の推移を見てみよう>	歳入と歳出のグラフから日本の財政の現状を確認する。 税収の推移グラフで税収の大きな流れを確認する。	10分
<10. まとめ> <11. クループディスカッション> <最後のメッセージ>	簡単におさらいをした上でグループディスカッションに入る。 テーマは消費税増税に賛成？反対？また、その理由は？ こちらが期待する答えは「賛成」でも「反対」でもなく、生徒自身が考えることを重要視する。 最後に各グループから意見を発表してもらおう。 財政や税金は難しいが、これらから日本で暮らしていくうえで決して他人事ではなく、今日の授業をきっかけにして、新聞やニュースに関心を持って、一人一人考えてもらいたいと伝える。	15分